

## 解離性椎骨動脈瘤について

突然の後頸部痛やめまい症状で発症します。椎骨・脳底動脈領域の脳幹や小脳梗塞など脳虚血症状で発症するタイプと意識障害を伴ったくも膜下出血で発症するタイプがあります。いずれも後遺症が重く残存する可能性があります。くも膜下出血で発症した場合には、再出血を予防するために手術が必要です。最近では血管内治療により多くの患者さんが治療され比較的良好的な成績を治めています。中には開頭手術やさらにバイパス手術が必要になる場合もあります。脳虚血症状で発症する場合には基本的に保存的加療のみとなりますが、解離部位の経時的な変化により手術が必要になる場合もあります。

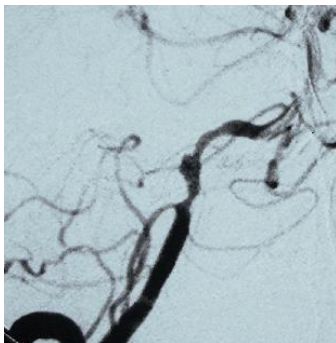
### 1. 脳血管内母血管コイル閉塞術



### 2. 解離性椎骨動脈瘤近位部クリッピング術+OA-PICA バイパス術



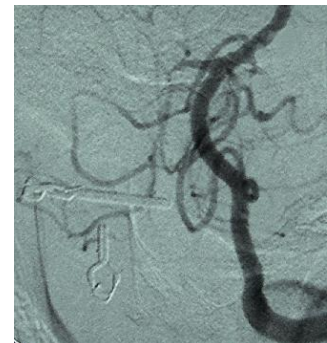
手術の様子



術前



術中



術後